

福島原発事故 避難者裁判を支える会・えひめ ニュース

No.7

2017年2月24日

〒790-0852

松山市石手2丁目9-21

TEL089-977-8155

映画 太陽の蓋

みなさんに、どうしても観てほしい！

福島原発事故避難者裁判を支える会・えひめ
事務局長 田淵 紀子

2011年3月11日は、誰にとっても忘れられない日であることは間違いありません。あの日から6年が過ぎようとしている今、震災の記憶に風化の兆しがあることもまた事実です。故郷に帰る見通しがたらず、愛媛に避難しつづけている方々がたくさんおられるというのに。私たちが、この映画会を企画したのは、震災を風化させたくない、そして、避難者の今を知ってほしいという切なる思いからです。

「太陽の蓋」は、事故当日以降の官邸内の動きを、ドキュメンタリー風に忠実に再現したものです。関係者の証言をもとに、見ごたえのある作品になっています。また、愛媛に避難されている方々から避難生活の実情をお聞きする時間も設けています。

愛媛県では、昨年8月以降、伊方原発が稼働しています。原発は、ひとたび事故が起これば、その地域だけでなく、世界中を巻き込む大惨事になります。自身の不動産や生活を捨てて避難しなければならぬほどの事故は、すべてを狂わせます。たくさんの方々に、この映画に足を運んでいただき、避難者の方々の話に、耳を傾けていただきたいと思います。

第1回総会のご案内

日時 3月18日(土) ※映画会当日同会場
13:00~13:50

会場 コムズ5F 大会議室

- 議事 ①野垣康之弁護士より、これまでの裁判の経過報告
②原告団からの報告(渡部寛志原告代表ほか)
③活動報告、会計報告(事務局から)
④支える会のこれから

映画会のご案内

日時 3月18日(土)
10:00~12:10 1回目上映
12:10~12:25 避難者の方のお話
13:00~13:50 第1回総会
14:00~16:10 2回目上映
16:10~16:25 避難者の方のお話

会場 コムズ5F 大会議室

料金 1,000円(大学生以上)

極度の緊張と切迫したあの時を劇にしてくれたのがうれしい。本当に日本は崩壊寸前だったのに、どこかで誰かがぎりぎり歯止めをかけた様子が具体的だ。私にとってまた力強い味方が一つ増えたような感じがする。

私の映画と併せて観て欲しい。

弁護士・映画監督 | 河合弘之

※裏面にも、映画の感想を掲載しています。

第10回口頭弁論日程のお知らせと傍聴のおねがい

日時 3月7日(火)14:30開廷 場所 松山地方裁判所

※14時前までには地裁ロビーにお集まりください。裁判終了後、愛媛弁護士会館で報告集会を行います。

「支える会」会費納入・カンパをお願いします! 年会費 1,000円

振込先) ゆうちょ銀行 口座記号番号16100-25698151 口座名義 福島原発事故避難者裁判を支える会・えひめ



国家をゆさぶる原発大惨事を迎えた時、政府も東電も真実の情報を流さず、国民をあざむいたリアリティーとアクチュアリティーを見事に描き出した歴史的啓蒙映画だ。必見である!!
フォトジャーナリスト | 樋口健二

じわじわくる怖さだ。けれど、この怖さを、わたしたちはいつの間にか受け入れている。そこがもっと恐ろしい。
作家 | 室井佑月

日本滅亡の危機だった。背筋が寒くなるほどゾッとさせられる。3・11福島原発大惨事の荘厳なドラマの再現。官邸内部と福島原発内の凍り付くような恐怖。再稼働は、地獄への道の突進だ、とよく判る映画だ。
ルポライター | 鎌田 慧

福島第一原発で核燃料がメルトダウンし、東京まで深刻な汚染が広まるという危険性を、日本人だけが知らなかったのだとわかった、慄然とした。
ジャーナリスト | 田原総一郎

日本壊滅の可能性まであった原発事故。地震の直後に「旧ソ連製と違い日本の原発が簡単に壊れるわけがない」と、したり顔で語っていた政治家や文化人を思い出しました。熊本地震の惨状もどく吹く風、原発再稼働の方針を頑として変えない政権には、一刻も早く退場してもらいたいものです。あのとき悪戦苦闘した当事者たちは、今から見るとそんなに悪くなかったと思います。
ライター | 沢宮亘理

「支える会」活動経過

2013年

10月12日 訴訟準備会設立

2014年

3月10日 松山地裁へ提訴（第1次訴訟ー6世帯12人の原告）

2015年

1月13日 第1回口頭弁論

3月14日 避難者裁判報告会

17日 第2回口頭弁論 傍聴、支える会発足

22日 ニュースNo.1発行

4月10日 第2次訴訟ー（4世帯13人が加わる）

5月10日 ニュースNo.2発行

6月16日 第3回口頭弁論 傍聴、報告集会

8月20日 ニュースNo.3発行

9月1日 第4回口頭弁論 傍聴、報告集会

12月10日 第5回口頭弁論 傍聴、報告集会

2016年

2月1日 ホームページ開設、ニュースNo.4発行

7日 映画「日本と原発」上映会

3月1日 第6回口頭弁論 傍聴、報告集会

11日 書籍「人の痛み この震災を転換点に：東日本大震災から五年、愛媛に避難した私たちの声」刊行

20日 石手寺縁日、復興支援もちつき大会

6月7日 第7回口頭弁論 傍聴、報告集会

8月30日 ニュースNo.5発行

9月6日 第8回口頭弁論 傍聴、報告集会

10日 「東北・四国 心行き交う盆踊り大会」（石手寺）

24日 盆踊り大会後の交流会

12月1日 ニュースNo.6発行

7日 第9回口頭弁論 傍聴、報告集会

2017年

1月16日 新年会（被災者9人支援者10人参加）

2月24日 ニュースNo.7発行

お知らせ 「講演会とデモ」

主催：伊方原発をとめる会

- 3月11日（土）13:30～16:00 講演 16:30～デモ
- 「コムズ」5F大会議室

3・11 福島原発事故6年、講演会とデモ

岡村眞氏（高知大学 教授） 地震と活断層を語る / 終了後デモ

2017年 **3月11日（土）** 講演＝13:30～16:00（参加費無料）
松山市男女共同参画推進センター「コムズ」5F 大会議室
松山市三番町 6-4-20 089-943-0777

デモ＝16:30～
集合場所＝松山市駅前・坊っちゃん広場
横断幕・プラカード等、アピールできるものを
それぞれご用意ください。

伊方沖の中央構造線が活動していることを発見した岡村眞（まこと）さん。地震、断層、活断層の研究者として、また高知県の避難対策の要として活躍しています。昨年11月2日に、伊方原発運転差し止めの仮処分事件で、岡村さんは原告側（デモ隊）を行いました。今回の講演では、90分かけて分かりやすく語っていただきます。

また、講演会終了後、デモを行います。福島原発事故から6年、福島切り捨ての政治を変え、事故を繰り返さないために、私たちの意思を伝えましょう。

主催：伊方原発をとめる会

連絡先 798-0003 愛媛県松山市三番町2-2-3 ハヤシビル3F
電話089-948-9990 FAX 089-948-9991
ホームページ <http://www.kata-tomeru.jp>

東日本大震災 6年目の追悼行事ー石手寺

東日本震災犠牲者追悼と被曝等困難への共感共生の祈り

- 3月11日（土）14:30～ ● 石手寺
- 黙禱 被災者スピーチ 水軍太鼓 被災者交流会